

吉田よしのり通信 第78号

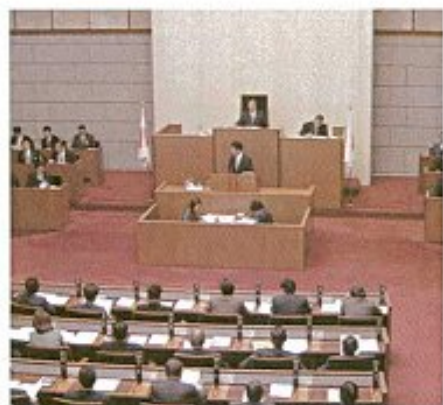
事務所 新座市馬場3-11-13-206
 電話・FAX 048-483-2777
 メール saitama@yoshiday.com
 ホームページ <http://www.yoshiday.com>
 (ホームページは、ほぼ毎日更新中!)



3月定例県議会・概要

3月定例議会は、2月20日に開会し、3月25日まで行われました。

今定例議会は、上田知事にとって初めての新年度予算作成ということもあり、会期日程も1ヶ月以上という長い定例会でした。当初、上田知事の予算について、反対・賛成の対応を協議していた自民党も、後半には賛成への対応を決め、



埼玉県議会本会議場で質問に立つ。市議会と違い、かなり広い。私の登壇の際は野次も激しい。

終盤戦はスムーズな議会運営となりました。

また、今定例議会から新たに作られた予算特別委員会も（私は担当委員に今回は選ばれませんでした）、まさに上田知事の圧勝という状況でした。質問原稿をしきり

に読み続ける議員と、ノー原稿で答弁する上田知事の姿が対照的でした。

新年度予算の概要

新年度予算規模は、一般会計で約1兆6925億円、対前年度比1.9%の増となっています。

このうち、県債依存度は昨年度より0.4ポイント改善させ、18.7%。額にして3163億円となっています。

今回の予算の特徴は、上田知事が盛んに使っている言葉「選択と集中」のとおり、大幅に削減されている項目がある一方、大幅に増額されている項目が数多いことです。さいたま市内の公共工事に至っては約4割近く、昨年度より減額されています。一方、新座市内の生活道路改良予算は地域により約500%増となっている箇所もあるなどメリハリある予算となっています。



上田知事に新年度予算についての要望を提出。かなり細かい項目を含め、数百項目に。

特に、私が上田知事に直々に要望していた市内数箇所の道路整備予算、子育て支援に対する予算、NPO支援に対する予算等は全て盛り込んでいただきました。

今後とも皆様からの要望をダイレクトに知事に伝え、実行できるものは即座に実行してまいりますので、お気軽にご連絡ください。

見えてこない県の借金!

現在、埼玉県の県債（県の借金）は約2兆8000億円、それ以上とも言われていますが、それ以外にも見えてこない借金が多く存在します。

今回調査したのは県の第三セクターや公社の借金で、埼玉県内に7社、約53億円の債務超過団体があることがわかりました。

多くの第三セクターや土地開発公社などの公社は不動産取得時の価格を資産として計上する会計のため、決算上は損失が見えず、これ以上にも多くの負債が見込まれます。

徹底した行財政効率化を公約していますので、会計手法変更など、解決をはかってゆきます。

「夜遊び県議の辞職問題」総務委員会で審議される。

今定例議会に提出された請願をめぐり、私の所属する総務委員会で議論されました。私は、このような問題に時間を費やすこと自体が無駄と主張しています。潔白なら、いかにも夜遊びをしているように報道した日本テレビを訴えるべきと主張。抗議もせず、請願の審議も拒否というのでは筋は通らないと主張。

6 県議の海外視察問題 辞職求める2 請願不採択

会委
議総
務

県議六人の海外視察中の夜遊び問題で、県議会の総務委員会は十一日、市民グループから提出された六県議の辞職を求める請願二件を不採択、再発防止を求める請願一件を継続審議とした。

辞職を求める請願では、山岸昭子委員(共産)が「県内の市議会では辞職を求める決議が相次いでいる。署名も一万五千七百八十一件に上る。ひな壇の女性を指名したことは女性差別につながる」と採択に賛成。

H16.3.12
読売新聞

これに対し、野本陽一委員(自民)は「昨年十二月に辞職を求める決議が否決されており、一事不再理で不採択したい」と発言した。その上で「発言は、テレビで放映された内容から、タレント女性を売春婦とみなしたこと等しい。決めつけるのは人権侵害だ」と述べた。一方、吉田芳朝委員(地方主権の会)は「同一会期中でなければ一事不再理にならない。採択すべきだ」と反対した。二件は一括審議され、賛成少数でいずれも不採択となった。採決の際、自民、公明の各一人の委員は退席した。請願は議会最終日の二十五日の本会議で採決される。

埼玉高速鉄道社長に杉野正氏、再建託す



埼玉県が抱える第三セクターのうち、私が最も将来的に問題なると指摘している「埼玉高速鉄道」の新社長に、長野県の第三セクター「しなの鉄道」現・社長の杉野正氏が就任することが内定。

埼玉高速鉄道は土屋前知事時代に、埼玉スタジアム2002整備に合わせ、延伸されたもの。200億円以上の累積債務を抱え、約1500億円の有利子負債を抱えている。

杉野氏は、旅行会社HISから、しなの鉄道に派遣され、一年で黒字転換へと導いた。

上田知事が直接、HIS社長などにアタックした。ちなみに今までの社長は、数年交代で副知事があっていた。

森林環境税導入へ向け、本格調査へ



埼玉県は、将来的に自然環境を守るという観点から政策税制(* 経済的誘導で、特定の政策課題を解決・支援しようとする税制度/杉並区が実施しているゴミ袋税など)としての森林環境税導入について、本年度より本格的な調査に乗り出すことになりました。

導入に当たっては経済状況を考えながら、また、知事が言う「コーヒー一杯程度」の負担で広く浅くという方針のよう。このような税制度は高知県や岡山県、岐阜県などで導入に向け検討が進んでいる。

